



## 出穂は早まる予想！ 穂肥の後は、間断かん水で根の活力を維持！ 斑点米カメムシ類多い！草刈りの徹底を！

### ◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月10日現在の生育は、平年値に比べ、草丈が長く、茎数は少なく、葉数はやや多く、葉色が薄い状況となっています。

農業総合研究センターの調査では、出穂期は平年に比べて早まる予想となっています。

平坦部「雪若丸」の生育（7月10日現在）

項目	調査値	平年値	平年比・差	
草丈	62.2 cm	55.5 cm	112	長い
茎数	608 本/m <sup>2</sup>	703 本/m <sup>2</sup>	86	少ない
葉数	11.4 枚	10.9 枚	0.5	やや多い
葉色 (SPAD)	41.6	43.8	-2.2	薄い

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（農業総合研究センター調べ）

場所	予想出穂期	平年出穂期 <sup>※</sup>	平年差
山形市みのりが丘	7月29日	8月1日	-3日
鶴岡市藤島	7月30日	8月1日	-2日

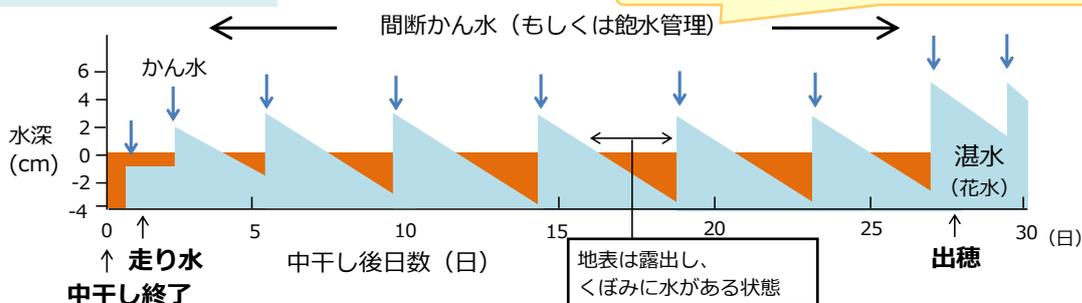
※過去7か年（H30～R6）の平均値

※※山形市みのりが丘は7月8日現在、鶴岡市藤島は7月10日現在

### (1) 穂肥後は間断かん水！

中干し終了後は、間断かん水もしくは飽水管理を行いましょ。間断かん水を行うことで土壌を酸化的に維持し、根の活力を維持することができます。

#### 水管理のイメージ



### (2) 斑点米カメムシ類対策 ～ 畦畔、法面、農道の除草を徹底！～

斑点米カメムシ類の発生量は平年に比べて多く、7月2日付けで注意報が発表されています。出穂2週間前頃までに地域全体で畦畔や法面、農道の草刈りを進めましょ。

## 農作業事故と熱中症に十分注意してください！

## 休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！